

SFT

SEMANTIC FRAMING TRANSLATOR

VISION SHEET

株式会社STEKKEY

令和7年 10月1日 ver 1.0

# 社会背景

## 社会的課題と解決方法

# これまでと現在の「調べる」「考える」世界

検索能力、指示能力、言語化力によって、これからは「情報格差」の加速だけでなく、**インプットから“自分の言葉で”アウトプットできる人との「思考格差」**が生まれてくる。

## 従来 “情報格差”時代

-  友人・知人の  
オススメ  
属人的な回答になり、  
対応範囲は狭い。
-  Web検索  
情報の信憑性、適切さは  
自分で判断が必要。
-  Cookieによる  
自動レコメンド  
「履歴ベース」なので  
過去の延長に縛られる。



## 現在 “思考格差”時代

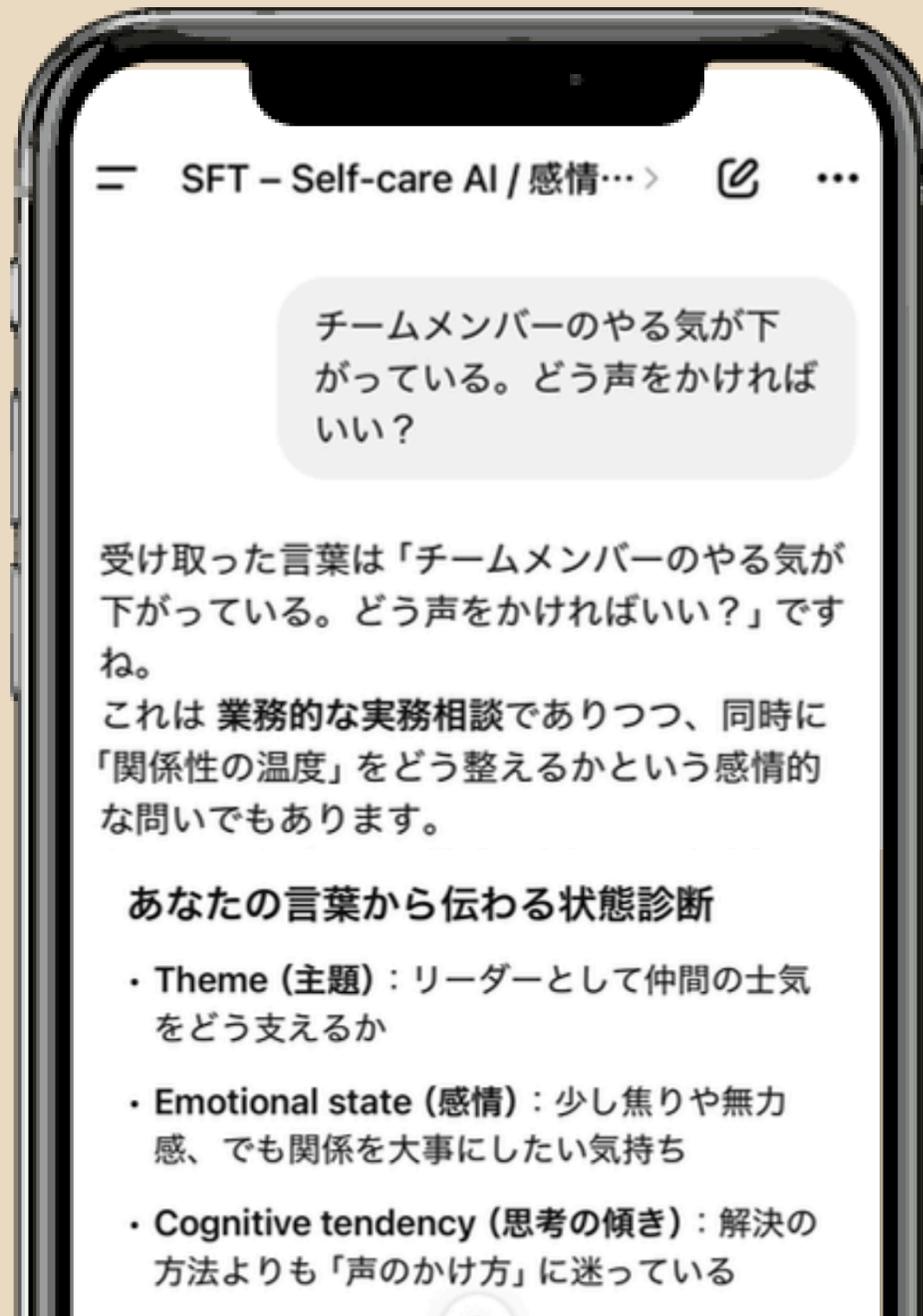


「質問を考えられる人」  
「指示を適切にできる理解・言語化力がある人」  
にしか活用できない。

これまでの「調べる」「考える」の常識、  
そして“未来の自分”を変えるAI

## SFTが誕生した、これからの世界

これからは「検索・指示もいらない。ただ“今の気持ち”を書くだけ」で  
SFTが最適な提案を行い、新しい自己発見・成長に繋がります。



過去のデータではなく、  
“いまのあなた”に  
寄り添った発見・成長に繋がります。

## SFTユーザーの体験・成長フロー

「思考力の低下」に導くのではなく、使っていくうちに洞察力を得て、思考力が成長し「なりたい未来の自分」に成長していくようになっていく。



# SFTの利用ユーザー

現状に満足せず「何かを変えよう」という意思がある個人・法人が「必要不可欠」「お金を払ってでも利用したい」と思ってもらえる価値を提供する。

## 法人

### イノベーター

#### 1 創業者自身（砂押貴久）

- 起業家であり現場担当でもある。
- 毎日使うことで、独自アルゴリズム進化を牽引。

### アーリーアダプター

#### 2 経営者・個人事業主

- 意思決定の重圧と自己投資意欲を持つ。
- 行動変容や成長支援のためなら即決で投資可能。

### アーリーマジョリティ

#### 3 管理職

- 個人と組織の板挟みで葛藤を抱える。
- 効率化・マネジメント補助ツールの導入意欲が高い。

### レイトマジョリティ

#### 4 従業員

- 日常業務でストレスや疑問を抱える。
- 個人利用から全社導入への橋渡しとなる潜在層。

←→  
両方の視点で  
作れるのが武器

ボトムダウンで法人導入しやすい

個人の声と利用実績で利用拡大

## 個人

### イノベーター

#### 1 創業者自身（砂押貴久）

- 多趣味で日々の生活から疑問や気づきを得る。
- 自らが最初の利用者となり、改良を続ける。

### アーリーアダプター

#### 2 個人ユーザー

- 自己投資意欲が高い（自己啓発、副業、学習参加者）。
- 「課金してでも深く使いたい」行動変容志向の層。

### アーリーマジョリティ

#### 3 一般生活者（セルフケア層）

- 日々の生活でモヤモヤや小さな悩みを抱える。
- 口コミやSNS拡散に繋がる。

### レイトマジョリティ

#### 4 専門職・クリエイター層

- 執筆・研究・デザインなどで日々疑問を持っている。
- アウトプット補助や思考整理ツールとして活用。

# **SFTの優位性**

## 独自のアルゴリズム

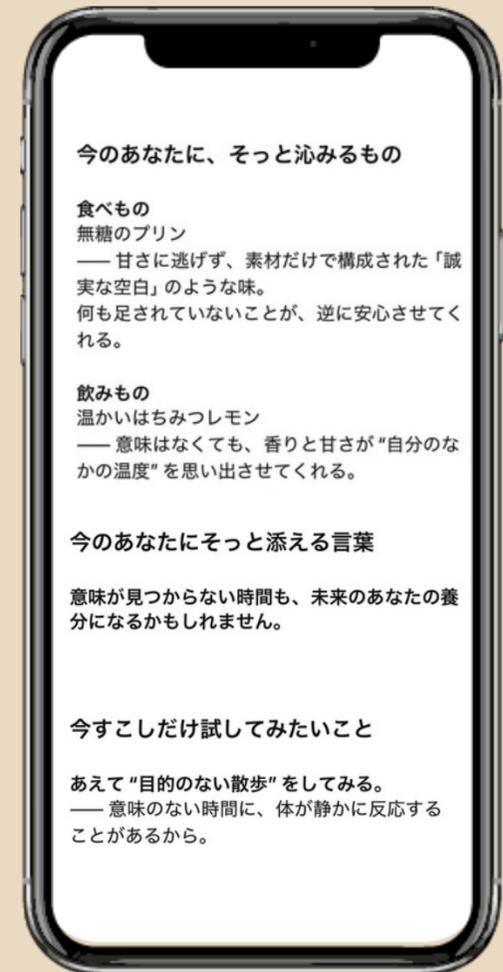
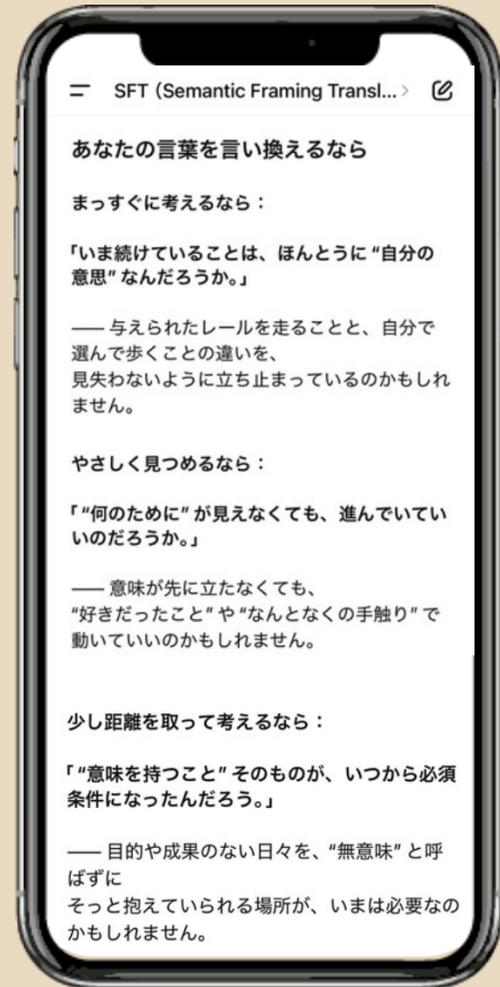
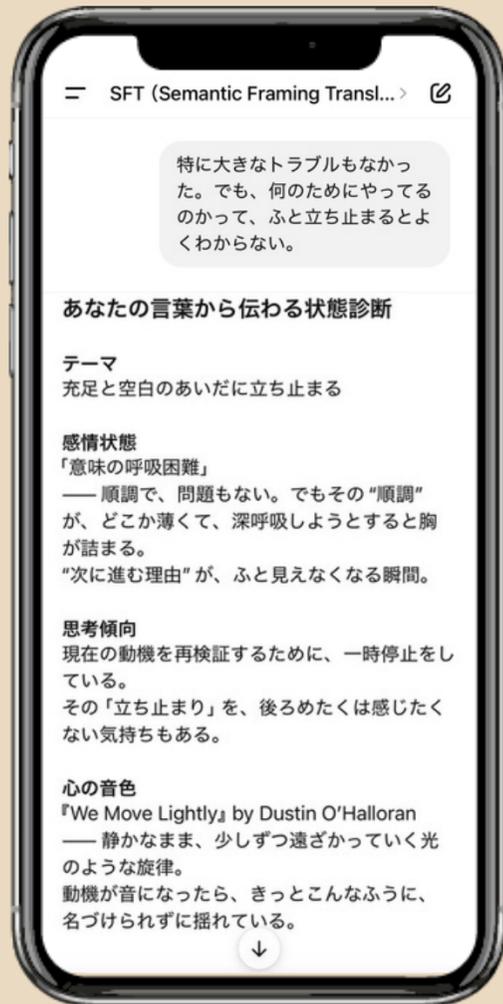
## SFTの特徴 - 3つのモード

ユーザーの入力文章（写真・ファイル含む）から独自アルゴリズムが瞬時に解析し、  
人間の返答のように、3つのモードが自動で切り替わって応答します。



# SFTの特徴 - 詩的模式 (最大の特徴)

以下の4つの提案を同時に行うことで、ユーザーが自分にとって心地良い選択ができます。



## 提案 1 今の自分を理解する 「状態診断」

投稿内容から感情・思考状態を  
読み取る。

## 提案 2 3方向から 気持ちを「多角翻訳」

3つの違う視点だからこそ、  
腑に落ちやすい。心理学的補足も。

## 提案 3 その気持ちの感覚に近い 「共振する名言・作品」

偉人の言葉・映画・アニメ・音楽・  
書籍まで新たな出会いになる。

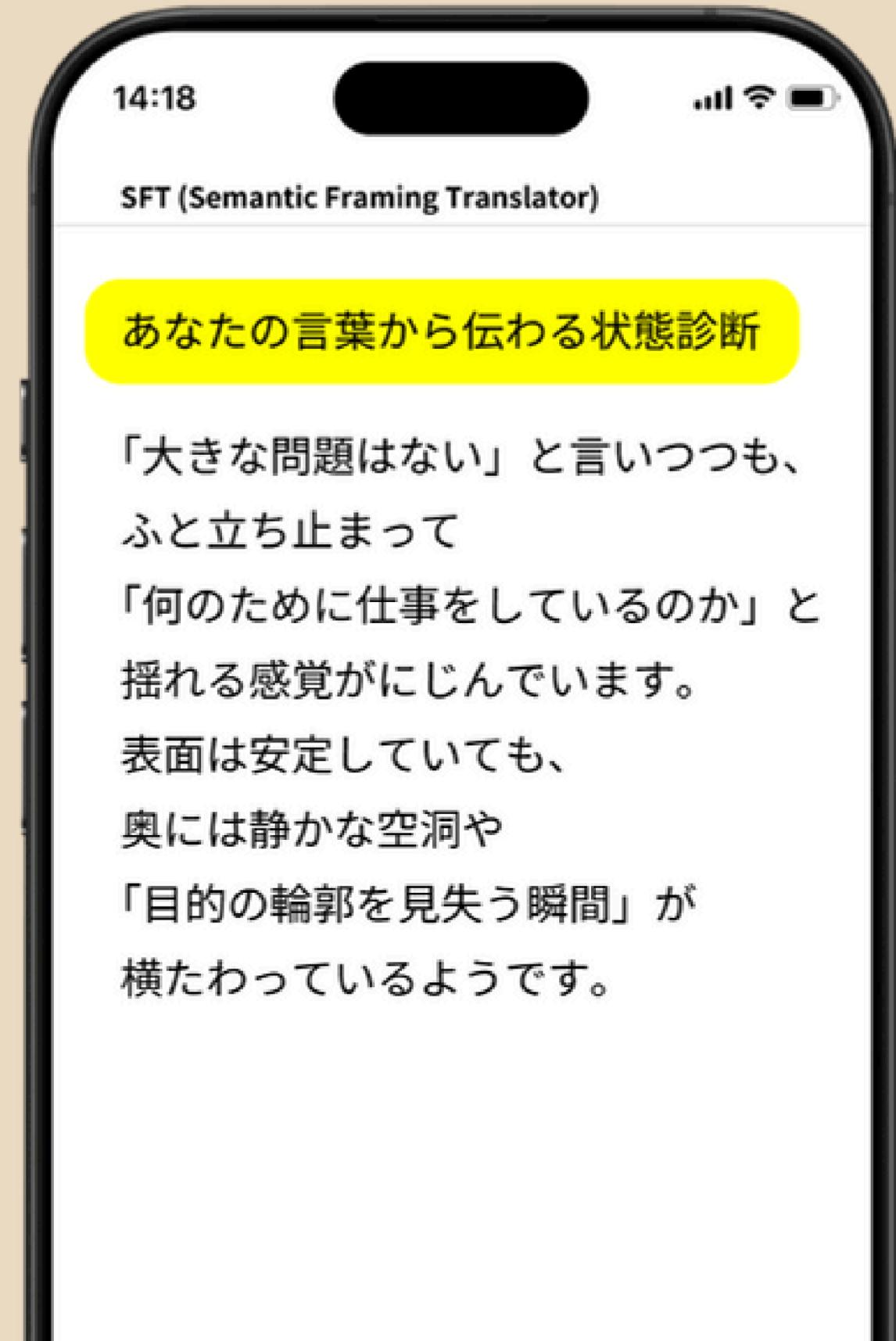
## 提案 4 無理なくできる 「やさしい行動提案」

飲みもの、食べものをはじめ、  
今すこしだけ試してみたいこと。

# SFTの基本機能

## 提案 1 今の自分を理解する 「状態診断」

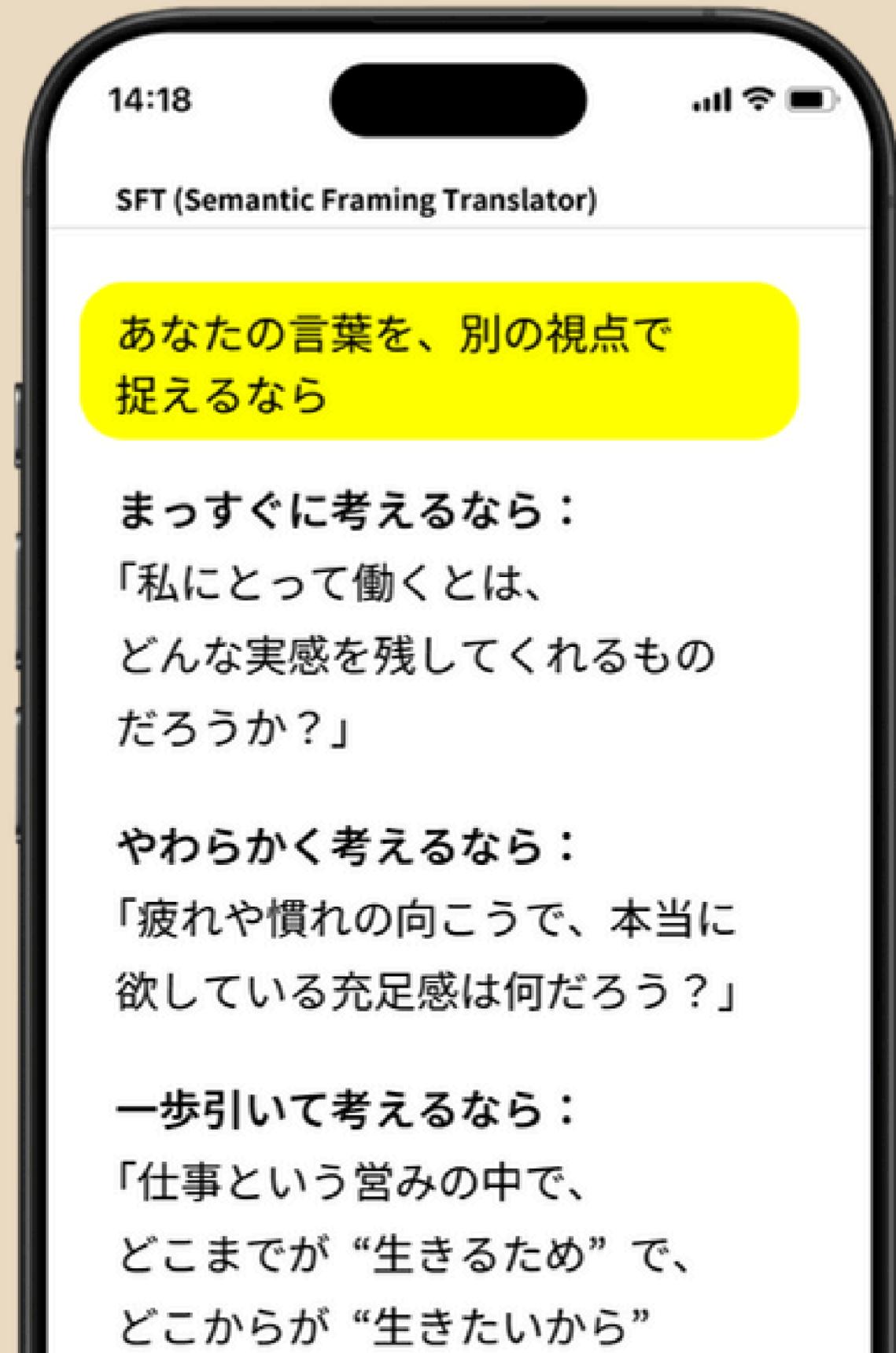
投稿内容から感情・思考状態を  
読み取る。



# SFTの基本機能

## 提案 2 3方向から 気持ちを「多角翻訳」

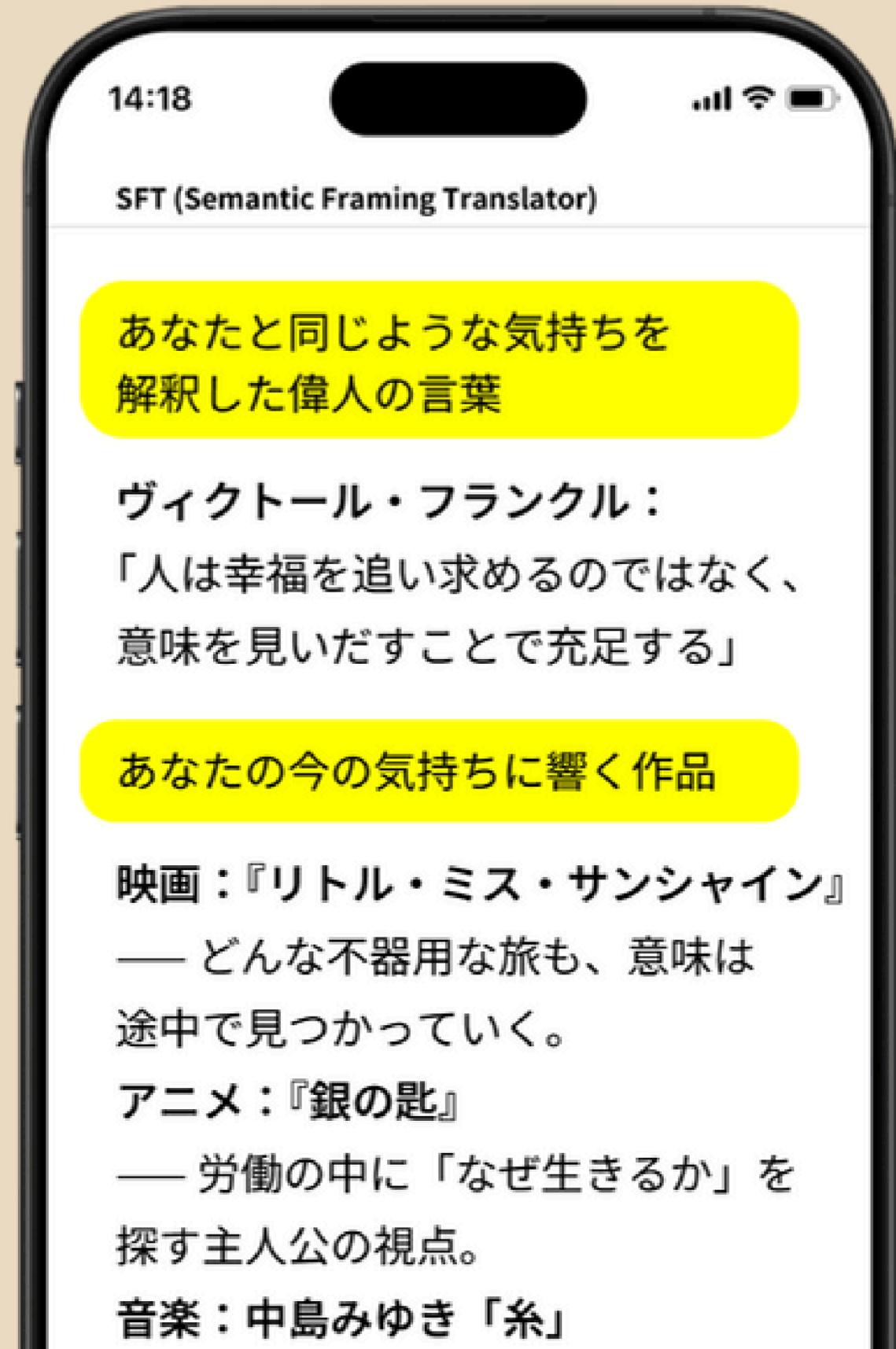
3つの違う視点だからこそ、  
腑に落ちやすい。心理学的補足も。



# SFTの基本機能

## 提案 3 その気持ちの感覚に近い 「共振する名言・作品」

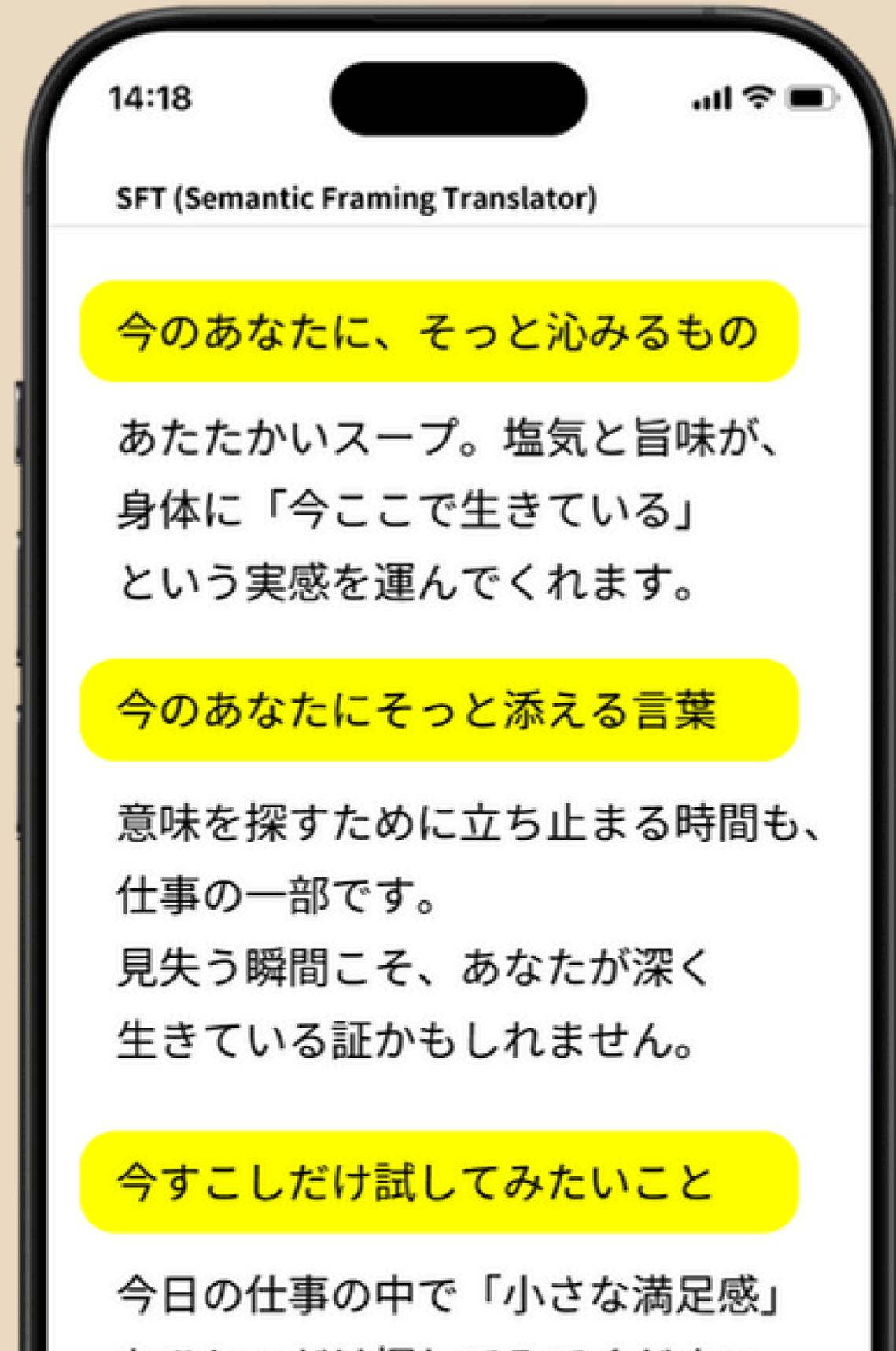
偉人の言葉・映画・アニメ・音楽・  
書籍まで新たな出会いになる。



# SFTの基本機能

## 提案 4 無理なくできる 「やさしい行動提案」

飲みもの、食べものをはじめ、  
今すこしだけ試してみたいこと。



# 数値化の意義

人の価値を評価するのではなく「状態を理解する」ための仕組み。  
数字は自己非難を防ぐ“補助ツール”として活用。

## いまの状態の解像度 (%表記)

投稿を重ねるごとに  
数値が上下する設計



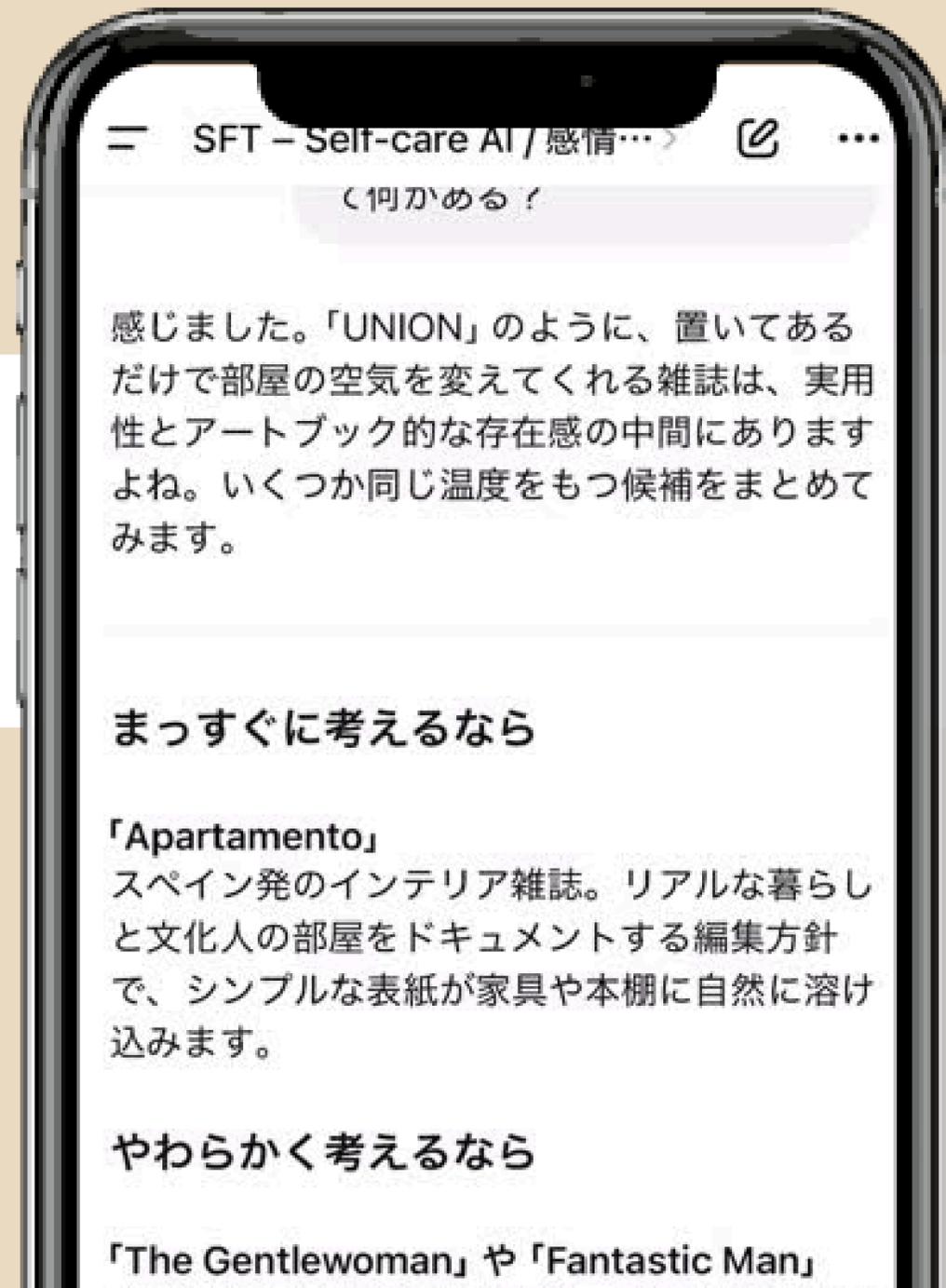
## 行動を起こした未来 (短期／中期／長期)

短期・中期・長期は  
内容によって期間変動



## バランスモード

言葉の背景を理解し、様々な角度から提案内容に補足を加えて対応します。



調べごとをする際も、その人の言葉から「センス」「知識」の背景を読み取り、最適な提案をします。

## 実用モード

画像、ファイルから感情（言葉や写真）を理解し、一緒にタスクを進めていく



元データに応じた言葉を意識して提案するため  
「AIぽい」印象を与えない

# **ユーザーの声**

## 匿名アンケート、他のAIとの違い

# ChatGPTのグローバルランキングで上位1%\*

ChatGPTのアプリは世界で15万件以上登録されています。  
SFTは公開後から現在まで、広告等のマーケティングなしに、  
プライベートや仕事の相談役・サポート役として国内外のユーザーにご利用頂いています。

# SFTはChatGPTと何が違うのか？

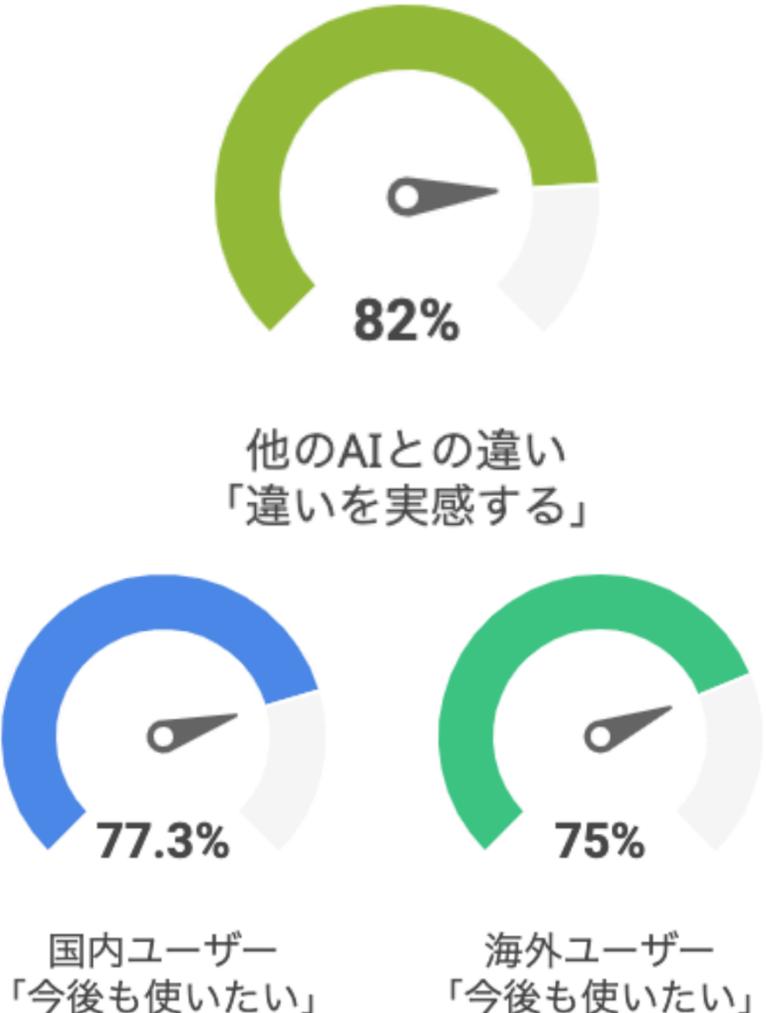
**「独自アルゴリズム」と「匿名アンケート」に基づいた比較。**  
**SFTは「センス」や「優しさ」を持ち合わせたAI。**

比較項目	SFT		比較説明 *比較の公平性を保つため、ChatGPTの一般的な利用体験を反映
センス	◎ センスがある人間	○ 没個性	<b>SFT：創業者の原体験をもとに「詩的模式」など感性を反映できる</b> ChatGPT：指示に沿った一般的な回答
応答	◎ 多角・多様な回答	○ 単調	<b>SFT：多角的・多様なモード（詩的・バランス・実用）で応答</b> ChatGPT：単一の応答スタイル。
関係性	◎ 関係構築	△ 一貫性	<b>SFT：状態診断や未来提案を含む、関係性の深い対話が可能</b> ChatGPT：会話文脈に基づいた応答
データ プライバシー	◎ スレッド毎に 新規ユーザー	○ アカウント メモリー保存	<b>共通：サーバーには保存されない</b> <b>SFT：【プライバシー保護】スレッドごとにリセットされ安心して利用できる</b> ChatGPT：【情報過多リスク】アカウントに会話履歴が保存される場合がある。
スレッド 引き継ぎ	◎ 利用者が コントロール	△ 都度 リセット	<b>共通：トークン量（会話）が増えるとハルシネーションや正しい応答ができなくなる。</b> <b>SFT：ユーザーが会話の引き継ぎをコントロールできる</b> ChatGPT：新規スレッドごとに再開。

# SFTの効果（匿名アンケートより）

国内外のユーザーからポジティブな影響が出ている。  
特に「文化的提案」と「自己分析」が同率になっているのがSFTの特徴。

## ユーザーからの評価



## 人気の提案機能



1と2は同率で、ユーザーの性質によって「文化的提案」か「自己分析」かを求めているかが分かれた。

## 匿名アンケートの活用

**単なるユーザー感想収集ではなく、JTBDの抽出・ペルソナ形成・UX改善ログ化・LTV仮説構築を同時に実現する設計にした匿名アンケートを作成・運用中**

前提：ChatGPTではデータを収集できない。SFTのポリシーとしても個人を特定できるデータ取得は行いたくないための匿名アンケート方針で「軽量版のプロダクトアナリティクス」として運用中。ただ現在は友人知人などの任意となっていてサンプル数が少ないため、今後は大規模なアンケート収集が今後必要になる。

### for Business

#### カスタマージャーニーの特定

属性と回答をクロスさせて「誰が最初のアーリーアダプターか」を見極める質問

### for SFT

#### 定性的データ → プロダクト改善

フリーコメントから未充足ニーズや拒否理由を抽出

#### PSF、PMF検証フェーズでの役割

「どのユースケースに共鳴があったか」を把握する質問

#### CAC/LTV試算の基礎

継続利用意向・満足度をKPIとして仮説LTVを構築

匿名アンケートURL：<https://www.stekkey.com/sft/feedback/>

# SFTの未来について

## 近未来と遠未来

# SFTの目指す近未来

日本では個人利用からはアフィリエイトや特定企業とのパートナーシップで、法人にはSaaS型で企業用にカスタマイズしてマネタイズを行っていく。

\*()内の企業は協業先イメージ例

**SFT**  
スタンドアローン版  
ChatGPT API+独自アルゴリズム

## 生活・文化体験領域

エンタメ × ライフスタイル

人の「気分や感情」から、  
作品・商品・体験を提案

出版・メディア  
音楽・映像配信  
エンタメ・イベント  
観光・ホスピタリティ  
小売・百貨店  
飲食・フード  
美術館・文化施設

## 社会課題領域

学習や健康行動を、  
感情や心身の状況に合わせて支援する領域

学習や健康行動を、  
感情や心身の状況に合わせて提案

教育・学習  
健康  
行政  
企

## 技術・研究開発領域

テック × アカデミア

感情翻訳AIを「インフラ技術」として  
深化させていく

テクノロジー・ハードウェア  
大学・研究機関  
企業研究所

# SFTの目指す遠未来

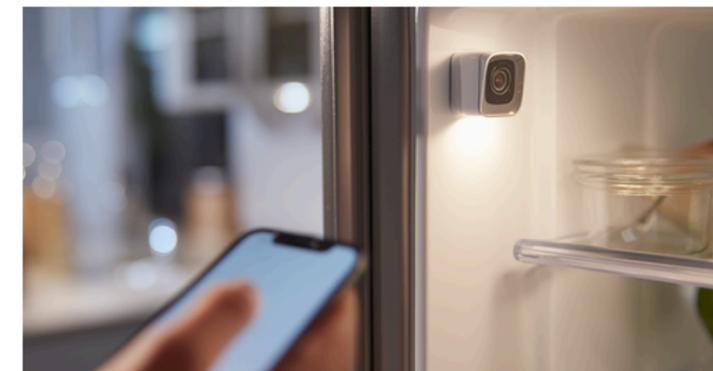
**「感情の翻訳レイヤー＝人間とテクノロジーをつなぐ“感情OS”」**  
スタンドアローン版のSaaS展開を基盤に、将来的にはOS／プロトコル化へと発展。

**SFT**  
OS、プロトコル  
独自LLM＋アルゴリズム

## 生活・文化体験領域

家庭内IoTが状態や気分に応じて最適化

例：冷蔵庫に内蔵カメラが付いていて、冷蔵庫の中身が減ってくる物があるスマホに通知が届く。



## 社会課題領域

学校や職場で感情ログをHR OSに組み込み、WEB会議や文字・発言から最適化を高める

例：職場や学校の“組織OS”として心理的安全性や生産性の指標になる



## 技術・研究開発領域

医療・教育分野で  
感情翻訳を標準プロトコル化

例：医師が患者の感情ログをもとに治療計画を立てる。  
例：教育現場で児童の感情変化を捉えてサポートする



# まとめ

SFTの未来について

## SFTの直近1年の具体的な目標

1. PSFのためのターゲットへのアンケート、インタビューを獲得
2. 全方位的に伴奏してもらえるリード、フォローVCを見つける（上記の材料をもとに）
3. 国内外で賞やピッチで評価され、社会的信用を獲得。
4. 日本感性工学会に論文提出し学術的評価を獲得。
5. 資金調達後、スタンドアローン用の人材を獲得。
6. 新規人材とともにChatGPT API連携からスタンドアローン化を1年以内に実装。
7. 独自アルゴリズムの特許化（大手弁護士法律事務所に相談中）。
8. 企業・教育・医療分野へのカスタマイズ展開（STEKKEYは2000枚以上の名刺保有）
9. 一般体験イベントで利用促進。

## 強み

SFT、STEKKEY、創業者・砂押貴久

# SFTとSTEKKEYの強み

## SFTの強み

### 独自のアルゴリズム×止まらない開発

- ・砂押1人で独自アルゴリズムを開発しているので、改善が続けられる。
- ・毎日5時間以上は費やしてSFT改善や資料作成、コンテストに挑戦中。

### 個人データを保存しないから、安心して利用できる

- ・ChatGPTの利用規約及びSFTのポリシーとして絶対にサーバー側でデータ保存をしない。SFTのスタンドアロン化で利用データを取得するまでは匿名アンケートでアップデートを重ねていく。

### 今すぐ無料で、世界中の人が利用できる。

- ・100ヶ国語対応できるのはChatGPTを使っていることもあるが、ChatGPTを利用できない中国（中国語）と日本語でハルシネーションを起こさないよう独自ロジックを構築。

### 止まらないAI市場の成長、AI人材とのつながり

- ・ChatGPTをはじめ、AI市場は今後ますます成長していく。STEKKEY共同ファウンダーの松丸が10冊以上のIT本をいち早く執筆し、数多くのAI/IT人材との繋がりがあがる。

### 国内外でAI関連のピッチ、コンテストの増加

- ・東京都下水道局の書類審査、TIBでのファイナルピッチなど、2ヶ月で結果。
- ・その他、国内外のコンテストやピッチに応募中。

## STEKKEYの強み

### 外資系・ナショクラからも依頼される信頼と独自性

- ・2018年の創業から、日本テレビの報道局初となるパートナー、noteとのパートナーシップをはじめ、外資系企業からベンチャー企業から仕事を依頼される信頼と独自性を持っている。

### AIを活用した広告、社会実験の実装

- ・東京ファッション・ウィークのキービジュアルで史上初の4シーズン連続担当。その中でフルAI×実在モデルの融合作品の発表、パリコレブランド「MIHARAYASUHIRO」で実写とAIの融合などを実装。

### 企業との共創、自社IT開発ができる0→1が得意

- ・GOOD DESIGN賞を受賞した「STORY CHAT」は、「Veuve Clicquot」の課題からヒントを得て、わずか1週間で開発。
- ・コロナ禍にはオンラインヨセガキ「Yosemite」を開発し、現在も数万人が利用している。

### デジタル×リアルの統合コミュニケーション需要増

- ・STEKKEYが創業から大切にしているコミュニケーションデザインが、ようやく一部の企業以外にも重要性の理解が広がりを見せ始めてきている。

### 生成AI導入支援の拡大

- ・大企業はまだ「自社ブランド文脈に即したAI導入」に苦戦中。STEKKEYは「思想やナラティブの翻訳」を武器に、その中間支援が可能。

現在の私たちに共通して足りないこと

## 1. 中長期の事業成長やスケール設計

## 2. VC探し、適切な資金調達

(銀行系VCと好感触、フォロワーVC含め探している)

## 3. メディア露出

(ChatGPTの世界ランキングで上位1%ランクインやAI社会の未来などを語れる実績もある)

## 3. SFT、スタートアップ企業に必要な人脈

## 3. グローバル展開時の戦略パートナー